

積雪深キャリブレーション・データテーブル

製 番 _____ SERIAL No. _____ データ管理 _____
 プログラムNo. _____ 信号処理 _____
 納入先 _____ 計測日 年 月 日
 設置場所 _____ 計測者 _____

計 測 基 準 デ ー タ							計 測 T E S T デ ー タ		
アドレス	計測基準データ ←00H					積雪値 [cm]	計測値 [cm]	計測位置周波数	モニター
0000		4	5	6	9	0			
0003		5	4	0	3	20			
0006		6	3	1	6	40			
0009		7	2	8	4	60			
000C		8	3	0	7	80			
000F		9	3	9	6	100			
0012	1	0	5	1	3	120			
0015	1	1	6	7	1	140			
0018	1	2	9	5	8	160			
001B	1	4	3	5	2	180			
001E	1	5	7	4	3	200			
0021	1	7	3	2	9	220			
0024	1	8	9	6	0	240			
0027	2	0	7	2	3	260			
002A	2	2	6	5	7	280			
002D	2	4	7	2	7	300			
0030	2	7	0	0	9	320			
0033	2	9	3	8	8	340			
0036	3	2	0	2	8	360			
0039	3	4	8	4	9	380			
003C	3	7	9	2	6	400			
003F	4	1	2	8	8	420			
0042	4	5	0	2	1	440			
0045	4	9	1	5	9	460			
0048	5	3	7	2	1	480			
004B	5	8	8	8	9	500			
004E	6	4	5	6	7	520			
0051	7	1	0	1	4	540			
0054	7	7	9	9	4	560			
0057	8	5	9	9	6	580			
005A				0	0	600			
005D				0	0	620			
0060				0	0	640			
0063				0	0	660			
0066				0	0	680			
0069				0	0	700	センサー部測定 (PB-537)		
006C				0	0	720	CT5		V
006F				0	0	740	CT6		V
0072				0	0	760	CT8		V
0075				0	0	780	CT9		V
0078				0	0	800	CT10		V

初期値データテーブル

初期値データ項目	アドレス	データ ←00H	現地調整データ
角度補正值	0400	10:00:00	
零点補正值	0403	00:00:00	
V/f 補正データ	040F	98:00:00	

レンジパラメータ・マトリックステーブル

製造番号		試験日		乾燥	湿潤(強)	湿潤(弱)	白紙
納入先		天候					
設置場所		温度					

項目		乾燥	湿潤(弱)	湿潤(中)	湿潤(強)	凍結	積雪	圧雪	パラメータ1	パラメータ2
パラメータ		0	1	2	3	4	5	6	7	8
正反射	上限 0									
	下限 1									
	制限値 2									
乱反射	上限 3									
	下限 4									
	制限値 5									
正乱比	上限 6									
	下限 7									
	路温 8									
	気温 9									

その他 測定

測定点名	測定点	測定値	測定値(無信号時)	規格
AGC電圧(VSO)				
AGC基準電圧(VTO)				
車両検知レベル(RBO)				
車両検知用基準電圧				
正反射レベル(SSO)				
乱反射レベル(RAO)				

点検報告書

設置場所	〇〇観測局	点検年月日	平成 年 月 日	天候	
		担当			

No	試験項目	基準値及び判定内容			点検結果
1	構造点検	塗装及び錆の状態を点検し、傷、錆等がないことを確認する。 据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。 各部のコネクター及びネジの締め付け状態を確認する。			
2	電源電圧測定	耐雷変圧器	入力電圧	AC 200V±10%以内	V
			出力電圧	AC 100V±10%以内	V
		制御部	NY-6A	+5 DC 5V±5%以内	V
				+12 DC 12V±10%以内	V
				-12 DC -12V±10%以内	V
				+12 DC 12V±10%以内	V
			AVR	+15 DC 15V±10%以内	V
				-15 DC 15V±10%以内	V
		伝送部	AVR1	+48 DC 48V±10%以内	V
			AVR2	-48 DC -48V±10%以内	V
		電池ユニット	蓄電池	6V × 4個	V
			充電電圧	26.7～27.5V	V
		凍結判定部	AVR1	+5 DC 5V±5%以内	V
				+15 DC 15V±10%以内	V
				-15 DC 15V±10%以内	V
			AVR2	+24 DC 24V±10%以内	V
			P25	DC 25V±20%以内	V
			N25	DC -25V±20%以内	V
		積雪計	AVR	DC 5V±5%以内	V
		降雪計		DC 12V±10%以内	V
3	回線電流の測定	送信電流	20 ± 3mA	mA	
		受信電流	20 ± 3mA	mA	
4	動作試験	計測温度を基準温度計と比較して精度を確認する。			
	気温計	通気ファンの動作を確認する。			
	路温計	計測温度を基準放射温度計と比較して精度を確認する。 (基準温度(氷水 0℃)と比較して精度を確認する。)			
	路面センサー	疑似路面(白紙)により、検知状況を確認する。 路面に水を散布し、検知状況を確認する。			
	凍結判定部	判定部の各基準値をモニターにて確認する。 (気温、路温、反射電圧)			
	積雪深計	模擬積雪面(白板)にて、積雪深計の精度を確認する。			
	降雪計	測定器で受光レベルを確認する。 各基準判定レベルを確認する。			
	雨量計	定量の水を入れ動作を確認する。			
	風向風速計	回転部分の動作を確認する。			
5	総合動作試験	各計測機器で測定したデータを監視局に送出することを確認する。			
6	機器の清掃	各測定機器の測定面等を清掃する。 機構部分に注油する。			

点 検 報 告 書

品 名	HL7 形表示機 (LED 式)	形 式			
設置場所					
担 当		点検年月日		天候	

No	点 検 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取 付 ・ 塗 装 メ ッ キ ・ 配 線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 3W 200/100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ 以上		
4	接地抵抗の測定	3 種接地 100Ω 以下		
5	制御電圧の測定	AVR1 DC 5V± 5%以内 AVR2 DC 12V±10%以内		
6	表示ランプ供給 電圧の測定	AVR1 DC 3V± 5%以内 AVR2 DC 3V± 5%以内 AVR3 DC 3V± 5%以内		
7	ランプテストの 確認	表示ランプが全点灯することを確認する。		
8	輝度切換の確認	自動、手動にて昼、夜間の切換を確認する。		
9	表示文字の確認	全表示項目及び表示パターンを確認する。 フリーパターン表示の確認をする。		
10	機側操作の確認	全表示項目を誤りなく表示する。		
11	遠方操作の確認	3 項目を誤りなく表示する。		
12	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 検 報 告 書

品 名	HL7 形表示機副制御部	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 検 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	制御電圧の測定	AVR1 +12 DC 12V±10% 以内 -12 DC -12V±10% 以内 P12 DC 12V±10% 以内 +5 DC 5V± 5% 以内 P24 DC 24V±10% 以内 AVR2 +12 DC 12V±10% 以内 -12 DC -12V±10% 以内		
2	電池電圧の測定	電池電圧 公称 6V×4 個		
3	回線通話の確認	機側操作盤の電話機にて通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のないことを確認する。		
4	機能検査	停電時の動作 遠方制御項目を停電復帰時に誤りなく表示出来ること。 各ステータスの動作 ① 話中 ② 停電 ③ 故障 ④ 機側操作		
5	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 検 報 告 書

品 名	気温表示板（LED式）	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 検 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取 付 ・ 塗 装 メ ッ キ ・ 配 線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 2W 100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ以上		
4	制御電圧の測定	P20 DC 20V±10%以内		
5	調光動作の確認	自動にて表示輝度が変わることを確認する。		
6	機側操作試験	手動表示スイッチにて表示することを確認する。 -39～+39℃		
7	表示動作確認	現在の温度を確認し、表示することを確認する。 設定以下（-2℃）にて点滅表示することを確認する。 内部のモニター表示も確認する。		
8	筐体の清掃	ウェス等にて盤内外の清掃をする。		

点 検 報 告 書

品 名	電光式表示機	形 式			
		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 検 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取 付 ・ 塗 装 メ ッ キ ・ 配 線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 2W 200/100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ 以上		
4	接地抵抗の測定	第 3 種接地 100Ω 以下 (筐体)		
5	表示ランプ供給 電圧の測定	表示項目 【この先 スリップ注意】 昼間時 22～24V 夜間時 10～12V		
6	ランプテストの 確認	上半分 (1-5 ブロック) 表示ランプが全点灯する。 下半分 (1-5 ブロック) 表示ランプが全点灯する。		
7	輝度切換の確認	自動、手動にて昼、夜間の切換を確認する。		
8	表示文字の確認	全表示項目及び表示パターンを確認する。 フリーパターン表示の確認をする。		
9	機側操作の確認	全表示項目を誤りなく表示する。		
10	遠方操作の確認	3 項目を誤りなく表示する。		
11	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 検 報 告 書

品 名	電光式表示機副制御部	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 検 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	制御電圧の測定	A V R 1 +12 D C 12V±10% 以内 -12 D C -12V±10% 以内 P 12 D C 12V±10% 以内 +5 D C 5V± 5% 以内 P 24 D C 24V±10% 以内		
2	電池電圧の測定	電池電圧 公称 6V×4 個		
3	回線通話の確認	機側操作盤の電話機にて通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のないことを確認する。		
4	機能検査	停電時の動作 遠方制御項目を停電復帰時に誤りなく表示出来ること。 各ステータスの動作 ① 話中 ② 停電 ③ 故障 ④ 機側操作		
5	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点検報告書

品 名	カメラ接続箱	型 式	
設置場所		製造番号	
担 当 者		試験年月日	天候

No.	点検項目	基準値及び判定内容			測定値	判定
1	構造検査	取 付：コネクタの外れ、またネジの緩みがないこと。 塗 装：塗装の傷、剥離がないこと。 メッキ：メッキに傷がないこと。 配 線：配線に接続間違いがないこと。				
2	接地抵抗測定	接地端子	D種接地	1 0 0 Ω 以下	Ω	
3	絶縁抵抗測定	二次一括大地間	5 0 0 V メガーにて	1 0 M Ω 以上	M Ω	
4	電源電圧測定	外部入力端子		定格電圧の± 1 0 %以内 1 ϕ 2 W 1 0 0 V	V	
		U P S	商用時	定格電圧の± 1 0 %以内 1 ϕ 2 W 1 0 0 V	V	
			停電時	定格電圧の± 1 0 %以内 1 ϕ 2 W 1 0 0 V	V	
5	総合動作試験	ライブ映像モニタ機能 W e b カメラにアクセスし、ライブ映像のモニタができること。				
		カメラ制御機能 指定したカメラに対してパン・チルト・ズームの操作ができること。				
		システム管理機能 カメラの登録、監視、制御などシステム管理ができること。				
		画像変換・配信機能 カメラ映像を J P E G 形式の静止画に変換し W e b サーバに配信できること。				